

事務局だより

平成31年4月号（第268号）

公益社団法人府中町シルバー人材センター
府中町浜田三丁目9番2号
電話 285-0161



会員数	（平成31年 3月 31日現在）				
男性	264名	女性	139名	計	403名

1月18日（金）・2月15日（金）・3月15日（金） 入会説明会

シルバー人材センターの事業を正しくご理解いただくために、入会説明会を、シルバーワークプラザ研修室で実施しました。

3回の入会説明会で、23名（男性会員14名、女性会員9名）の方が入会されました。

平成30年度末の会員数は403名となり、第三次中期計画（平成27年策定）の目標数は395人でしたので、目標を達成することができました。しかし、昨年**全国シルバー人材センター事業協会が掲げた「会員100万人達成計画」**（平成30年度から36年度）における当センターの平成30年度の目標会員数は411人となっており、残念ながら僅かに届きませんでした。今後も会員の拡充のため、1人1会員入会活動にご協力をお願いします。

1月29日（火）・3月8日（金） 定期監査の実施

平成30年10月～11月分を1月29日、平成30年12月～平成31年1月分を3月8日に、栢野監事と錦織監事が監査を実施しました。

監査報告書として、「会計諸帳簿ならびに関係証票書類について照合した結果、事実と相違ないことを認めます。」という報告書をいただきました。また、監査より注意事項として、預金等残高確認について、預金、定期預金について残高を確認したところ通帳と残高は一致していたという報告をいただきました。

2月3日（日） 互助会主催 「新年会兼新春の集い」の開催

センター互助会（吉村 尚会長）の新年会兼新春の集いが府中南交流センターで開催されました。

参加者は、39名で、のど自慢、ビンゴゲーム、田中春男会員によるハーモニカ演奏な

ど、会員同士の親睦を深め、楽しいひと時を過ごしました。最後は、例年のとおり多くの会員が壇上にあがり、「高校3年生」を熱唱して、大盛況のうちに集いは終わりました。

来年、令和第1回新年会兼新春の集いに、多くの参加者が集まることを期待しています（互助会会長の声）との事でした。



<吉村 互助会会長の挨拶>



<「高校3年生」を熱唱中>

2月6日（水） 平成30年度 第1回総務部会の開催

平成30年度第1回総務部会を2月6日に開催しました。

議題は、①平成30年度事業進捗状況について

②平成31年度予算編成方針（案）について

③平成31年度事業計画（案）について

また、衣目公認会計事務所の氏原謙一公益法人統括マネージャーから、平成31年度シルバー事業に関連した補助金関係、全国シルバー人材センターの活動状況等についての説明を受けました。

○議題1：平成30年度事業進捗状況について

平成30年12月末現在、経常収益計は予算額に対して69%の執行率、経常費用計は68%の執行率となっています。今年度の執行率は、例年と比べ少し減少しています。この要因は、7月の豪雨災害により、みくまり管理棟、揚倉山健康運動公園等の公共施設が閉鎖され、管理業務が行えなかったことによるものです。

なお、今年度は、消費税の還付金が生じたことから、かなりの黒字決算となる見込みです。

○議題2：平成31年度予算編成方針（案）について

平成31年度は、国の補助事業である地域就業機会創出・拡大事業（シルバー人材センターが、地域の地方公共団体や商工団体等の関係機関と連携して、高齢者に新たな就業機会を提供する事業を実施する場合に、事業に要した費用を補助）が廃止されたことにより、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（シルバー人材センターにおける高齢者が、人手不足の悩みを抱える企業を一層強力に支えるため、事務局体制の拡充を図ることによりマッチング機能を強化する）を推進し、国及び府中町からの補助金を確保することとしています。

また、公共からの委託事業については、昨年度を下回らないように努め、民間については、新規就業先の開拓、そして独自事業の拡大に努め、自主財源の確保を図るとともに経費の削減に取組み、財政基盤の確立に努めます。

○議題3：平成31年度事業計画（案）について

平成31年度の重点事業項目

①事業運営の健全化と組織体制の強化 ②会員の増強 ③普及啓発活動の強化と実践 ④就業機会の拡大と就業場所の確保 ⑤高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進 ⑥安全・適正就業の推進 ⑦会員の就業技術の向上 ⑧社会参加活動の推進などを掲げ 事業を推進することとしています。



<総務部会での審議状況>

2月27日（水） 第2回総務部会の開催

第2回総務部会を2月27日に開催しました。

○議題1：平成31年度収支予算書（案）について

平成31年度収支予算は、受託事業収益155,030千円、介護予防・日常生活支援総合事業9,854千円、施設指定管理業務収益5,799千円、受託補助金等27,440千円など、経常収益計は、208,889千円（対前年比2.6%の伸び）。一方、事業費206,530千円、管理費2,315千円で、経常費用計208,845千円となり、当期経常増減額44千円を見込んでいます。

2月28日（木） 府中町シルバーワークプラザの消防訓練の実施

2月28日に府中町シルバーワークプラザ利用者及びなないろ作業所職員による合同消防訓練を実施しました。

この訓練は、火災発生時の通報、火災発生に伴う避難経路の確認、消火活動の訓練をなないろ作業所と連携の徹底を図ることを目的とするものです。

訓練には20名が参加し、避難訓練後に模擬消火器を使用した訓練を行い、最後に浦田

理事長の講評を受け、訓練を終了しました。



<消防訓練のようす>

3月4日(月) 第4回理事会の開催

第4回理事会を3月4日に開催しました。

- 議題1 平成30年度補正予算(第3回)について 原案承認
職員給与の改定等に伴い、賞与引当金繰入額71千円を増額補正。
退職給付費用513千円を増額補正。
- 議題2 平成31年度事業計画について 原案決議
2月6日開催の総務部会に内容と同一
- 議題3 平成31年度収支予算書について 原案決議
2月27日開催の総務部会に内容と同一
- 議題4 公益社団法人府中町シルバー人材センター適正就業基準要綱の全部改正
について 原案承認

平成29年11月の定期監査において、監事から府中町シルバー人材センター適正就業基準要綱について「この要綱に定められている適正就業審査会が機能していなかった。その事も含め、要綱を見直していただきたい。」との指摘を受けました。

県内の各シルバー人材センターの要綱を参考に、改正(案)を示し、主な改正点を説明しました。主な改正点は次のとおりです。

- ① 適正就業基準要綱に定める目的を達成するため、副理事長を会長とし、理事4名、会員の代表3名で構成する適正就業審査会を設置。
- ② 就業日数と就業時間は、概ね月10日程度以内、または、概ね週20時間を超えない範囲とするを明記。(全国シルバー人材センター事業協会が示したガイドラインによる)
- ③ 「・・・就業する会員の就業期間は、原則1年とする。ただし、当該作業に就業を希望する会員がいない場合はこの限りでない。会員が不足していること等を1年を超えて就業する場合であっても、継続して5年を超えないものとする。」

を

「・・・就業期間は、1年以内とし、毎年度末日をもって満了とする。ただし、更新する場合は1年毎とし、初年度を含め最長5年間までとする。」第2項で、
「・・・新たな就業希望会員がいないなどの特別な事情がある場合は、就業期間を延長することができる。」

に改めました。

そして、③については、附則において、当分の間、公共の管理業務に限るとし、また、5年を経過した会員には、経過措置を設けており、希望する会員がいた場合には、順次交代していただくようになります。

- 報告事項
- ・平成30年度予算流用（第1回）について
 - ・定期監査報告（10月～11月分）について
 - ・理事長、副理事長、常務理事の職務執行状況について
 - ・平成30年度安全巡回指導（第2回）の報告について

その他事項 衣目公認会計事務所の氏原謙一公益法人統括マネージャーから平成31年10月から消費税率変更に伴う配分金への影響と平成35年10月からの適格請求書等保存方式（インボイス制度）及び適正就業等の説明を受けました。

3月13日（水） 第3回安全巡回指導の実施

安全部会による第3回安全巡回指導（シルバーママサービス・メンズサロン）を行いました。

シルバーママサービスでは、子ども柵に破損箇所が見受けられたので、当日緊急修繕を行いました。メンズサロンでの指摘事項はありませんでした。



<安全巡回指導のようす>

3月13日（水） 平成31年度 安全就業スローガン優秀作品の決定

3月13日に安全就業スローガン優秀作品選考委員会を開催し、10名の方から応募があった18作品について、厳正な審査の結果、次の2作品が優秀作品に選ばれました。

田村 桂子 さんの作品で、「今日も無事、働く喜びチームワーク」

高野 秀徳 さんの作品で、「『ムリするな』、その一言が事故防止」

この2作品については、平成31年度定時総会で表彰し、幟を作成しセンター事務局に掲示する予定です。

3月18日（月）・19日（火） 公共施設等管理就業会員必須研修会の実施

3月18日・19日に公共施設等就業会員を対象に府中公民館、府中南公民館で研修会を実施し、計88名の方が受講されました。講習会の内容は2部あり、1部はMorita キャリアプランニングの森田ひとみ講師より「接遇対応・クレーム対応」について、2部は広島県東警察署交通課片山係長より「高齢者交通安全」について、生活安全課木崎係長より「防犯について」説明を受けました。



<研修会のようす（府中公民館）>

3月27日（水）植木剪定講習会

3月27日に剪定作業会員を対象に府中公民館で植木剪定講習会を開催しました。

NPO法人樹木医ひろしま 工藤徹理事を講師として、13名が参加しました。はじめに剪定の基礎講習として、樹木の種類別の剪定の時期の違いや開花習性等、技術面としては刈りこみのコツや枝の透かし方を講じていただきました。次に府中公民館の植木を用いて、実技講習をしていただきました。ツツジの剪定やツバキやクロガネモチの枝の透かし方、マツの剪定を学びました。最後に質疑応答の時間を設け、剪定作業会員の疑問が解消されました。

本講習会で得た知識や技術が、今後の作業に役立つこととなりそうです。



<講習会のようす>

4月19日（金） 午後1時30分～ 入会説明会の予定

シルバー人材センターの事業内容を正しくご理解いただくために、入会説明会を4月19日にシルバーワークプラザ研修室で開催する予定です。

5月26日（日） 互助会主催 グランドゴルフ大会

空城山公園で、互助会主催によるグランドゴルフ大会が開催されます。
皚月の花も盛りを過ぎ、空城山公園の木々も濃くなってくるなか、クラブを持ち思いっきりボールを叩いてみませんか。

詳細は別紙(ピンク色)グランドゴルフ大会のご案内のとおり

平成31年度 事務局体制

事務局長	谷崎 文男	事務局次長	山代 佳世
主任主事	大出 祐輔	主事	梶川 権太
主事	住友 剛士		
臨時職員	藤本 清美	臨時職員	林 潔

(ファミリーサポートセンター)

臨時職員	大崎 奉子	臨時職員	秋光 美和
------	-------	------	-------

退職(3月31日) 嘱託職員 金子 泰子 (ファミリーサポートセンター)

編集後記

平成31年度が始まりました。5月からは令和に改元されます。

当センターの平成の主な出来事を振り返ってみます。

平成 2年 「八幡作業所」開所。

平成 9年 設立10周年記念大会。

平成11年 鹿籠一丁目に移転。

シルバーサロンを町内2ヶ所で開始。

平成12年 シルバーママサービス(子どもの一時預かり事業)を開所(町内の保育園)

平成14年 鶴江作業所開所

平成15年 浜田三丁目、現在の地に事務所移転(シルバーワークプラザ)。

府中町ファミリーサポートセンターを運営。

シルバーワークプラザ内でシルバーママサービス開所。

平成17年 シルバーママサービス認可外保育施設として広島県に届出。

平成19年 ふれあい喫茶「ふちゅう椿庵」の運営を開始。(くすのきプラザ内)

シルバー派遣事業参入。

設立20周年記念大会。

平成23年 公益社団法人に移行。

平成24年 企画提案方式による事業開所。(メンズサロンなど)

平成26年 地域ニーズ事業開始。(環境エコ推進事業(チップ化事業))

平成28年 地域創出・拡大事業開始。(介護予防事業)

平成29年 設立30周年記念大会。

平成も残りわずかになりました。新しい元号(令和)に向けて、会員皆さまのご健康とご活躍をお祈りします。

府中町シルバー人材センター事務局職員一同

『
二重かぎかっこ (終)

二重カギ『 』 (週
二重カギ【】【終わり